

# 建築文化賞

景観上優れた建築物

建築主：株式会社ホキ美術館

設計：株式会社日建設計

施工：株式会社大林組

所在地：千葉市緑区あすみが丘東3-15

発見する喜びを誘う創造的空間

## ホキ美術館



鋼板構造のギャラリーが30mのキャンチレバーで浮遊する(東側外観)

(撮影/野田 東徳)

個人美術館として、出色の出来栄である。全体構成、空間配置、ボリュームの分節化、スケール感、ディテールの詰め、そのどれをとっても第一級であることに異を唱える人は少ないであろう。使用された素材の対比と連携が、これほどまでに大胆且つ穏やかな内外空間の中に統合された例を他にあまり知らない。

内部に展開する思いの外おらかな展示空間は、外部からは伺いしれない構造と設備の仕組みや、細部の優しい収まりと仕上げに支えられ、アプローチで抱く予感を心地よく裏切ってくれる。とことん抽象化されたジオメトリーの重なり合いが、優雅な曲線で訪問者を誘う。そして、写実主義のみに絞り込まれた超絶技巧の作品群と、意外な対話を醸し出す。企画、設計、建設過程で深くのめり込んだに違いない関係者の思いの幸せな重なり合いを感じ取ることさえできる。今や、各地から数多の訪問者を数え、その努力に報いている。

議論の余地があるとすれば、この美しい建築と、公園に近接する郊外

の戸建住宅地という周辺環境との関係性に集約されるだろう。この立地条件は、やはり美術館のありように影響を与えている。オーナーからの強い要望であった周辺住宅群にスケール感をなじませる配慮は是としよう。だが、この建築の顔である最もユニークな景観は入口側の背後に隠され、その下部に地下へと向かう搬入路がやや唐突に覗く。その周辺に乱雑に置かれた職員の車群は内部のカフェテリアからも、外部からもやはり目障りであった。この稀有な建築が程よく熟成するためにも、運用の改善が望まれる。

(岩村 和夫)



ギャラリー内観



西側鳥瞰

(撮影/藤井 浩司)